

新型コロナウイルス感染症を受けて

一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会の声

外出する機会が減り、人と触れ合うことが少なくなりました。例えば、外出時に同行援護してくださるヘルパーさんもコロナ禍の影響により、頼んでも確保できなかつたり、予約が集中して取りにくかつたり、制限がかかつたりするなど、外出しづらくなったのも一因です。外出を控えることで、情報量も少なくなり、必要な情報が得られず困ることがあります。

また、視覚障害者はどうしても触感に頼りがちなので、買い物に行ったときなど、商品を手にとって確認することが多いのですが、今は周りの人の目が気になり触りにくくなりました。余計に周りの方や家族の支援に頼らざるを得ない状況です。私たちにとって、助けてくださる人の存在は大きく、コロナ禍により声をかけてもらいにくくなったことを実感しています。

お問い合わせ先

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課障害者支援室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-2746 / FAX:099-286-5558

視覚障害って、どんな障害？

視覚障害には、障害の程度で一人一人見え方が違います。

全く見えない、ぼやけて細部が分からない、物が半分しか見えない、中心の丸い範囲しか見えないなどの場合があります。

例1 ぼやけて細部が分からない



例2 物が半分しか見えない

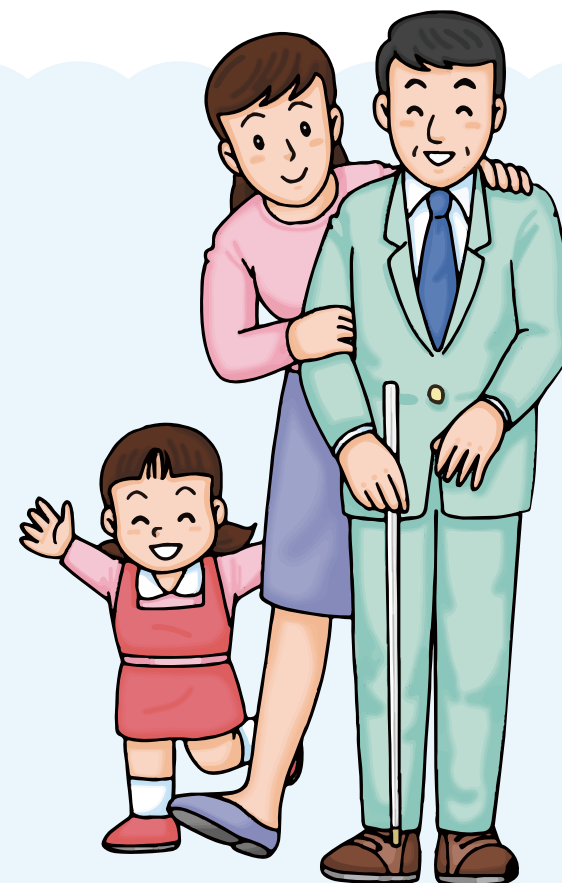


例3 中心の丸い範囲しか見えない



視覚障害者の 暮らし支援

新型コロナウイルス対応



鹿児島県

こんなことに困ることがあります

外出時に困っているとき「すみません」と声をあげても、返事が返ってこないことがあります。	「どうしましたか」という声かけがほしいです。
スーパーのセルフレジや病院の自動精算機、銀行の自動受付等が使いづらいです。	視覚障害者は、セルフレジや自動精算機等の使用が難しいので、困っているときはサポートしてほしいです。
新しい建物ができたとき点字ブロックはありますが、途中で切れていて全部つながっていないことがあります。	建物内の移動がスムーズにできるよう配慮してほしいです。
バスの時刻表の高い位置などは視野の関係上見づらいです。	視覚障害者のための案内板がほしいです。
初めて入ったトイレで水洗レバーが見当たりません。	点字案内板を付けてもらいたいです。
最近センサーで手をかざすトイレが多いです。誤って緊急ボタンを押してしまい大変なことになったこともありました。	ヘルパーさん同行の場合はよいですが、視覚障害者には分からないので、トイレの流すボタンに点字案内を付けてほしいです。

※ほかにも、トイレでの困りごとは多いようです。

ホテルやデパートでも、階によってトイレ内の設備やペーパーの位置などが違うようです。
(空港のトイレなどでも同様です)

特に、コロナ禍の状況の今困ること

同行援護が断られることが多く、予約が集中して取りづらいときがあります。	行政の支援をお願いします。
盲導犬を連れて外出しておりますが、入店拒否が増えていると感じます。	盲導犬普及のためにも盲導犬への理解と支援をお願いします。
スーパーでのセルフレジが分かりづらいです。	点字案内を付けてほしいです。

支援するためのポイント

誘導(移動の手伝い)

まずは、勇気を出して「何かお手伝いすることはありますか？」の声かけを。時間や移動距離などできる範囲で構いませんので、誘導してもらえると助かります。白い杖を持っている人を見かけたら、声かけの後、左側に立ち右肘を貸してください。盲導犬の場合、歩く速度まで聞いてもらえると歩きやすくなります。



道路で危険が及びそうな場合

視覚障害者は車のエンジン音で危険を察知していますが、最近はエンジン音の静かな車やアイドリングストップ機能の車なども多く、判断しづらい状況のときもあります。信号を赤で渡っているのを見かけたら、声かけと同時に安全な場所に誘導してください。

